

4月28日(月)3日目	第1会場	第2会場
9:00	<p>155 座長 高松 進 <i>Plectosporium tabacinum</i> (van Beyma) Palm, Gams et Nirenbergによるハナトリカブト株枯病(新称) ○富岡啓介・廣岡裕史・遠藤眞智子・永井利郎・澤田宏之・青木孝之・佐藤豊三(生物研)</p>	<p>252 座長 稲垣善茂 イネいもち病菌胞子懸濁液上清中の感染促進因子の特性評価とその精製 ○安藤杉尋・田部茂・繁森英幸*・山田小須弥*・秋本千春・西澤洋子・南栄一(農業生物資源研究所・*筑波大)</p>
9:12	<p>156 EF1a領域とβ-tubulin領域を指標とした<i>Pestalotiopsis</i>属菌の分子系統解析 ○渡辺京子・小野泰典*・元井さつき・小林享夫**・松田真二・日比忠明(玉川大・*第一三共・**東農大)</p>	<p>253 イネいもち病菌が分泌するカタラーゼ・ペルオキシダーゼの機能解析 ○田部茂・南尚子・齋藤憲一郎・西澤洋子・澁谷直人*・南栄一(生物研・*明治大農)</p>
9:24	<p>157 rep-PCR法によるイネ紋枯病菌の個体群解析(3)Rep-PCR法およびrDNA-ITS塩基配列によるミャンマー、日本およびベトナム産イネ紋枯病菌のクローン個体群に関する比較解析 ○セイン・サン・エ・ハ・ヴィエト・クオン*・福田信二・松元 賢(九大農研セ・*ハノイ農大)</p>	<p>254 オオムギの光誘導抵抗性に関与するイネいもち病菌の因子の探索について ●久村 由美子・川上 浪・木原淳一・荒瀬 栄・上野 誠(島根大生資)</p>
9:36	<p>158 New Species of <i>Phytophthora</i> Causing Root Rot of Chrysanthemum. ●Naher, M.*・Senda, M.*・Watanabe, H.**・Chikuo, Y.***・Suga, H.**** and Kageyama, K.*(*岐大流域研セ・**岐大院連農・***花き研・****岐大生命セ)</p>	<p>255 植物感染時におけるイネいもち病菌細胞壁成分の局在について ○藤川貴史・阿部敬悦*・西村麻里江(生物研・*東北大 未来研)</p>
9:48	<p>159 <i>Pythium ultimum</i>のrDNA IGS領域の構造 ●埋橋志穂美・今津道夫*・柿嶋眞(筑波大院生環・*信州大 全学教育)</p>	<p>256 RNAサイレンシング法によるイネ科植物いもち病菌のGATA, bHLH転写因子ファミリーの機能解析 笠原誠司・Quoc, N.B.・土佐幸雄・眞山滋志・○中屋敷均(神戸大院農)</p>
10:00	<p>160 座長 井上幸次 農業生物資源ジーンバンク(MAFF)保存の<i>Fusarium oxysporum</i>菌株の分子系統学的再評価 ○青木孝之・佐藤豊三・澤田宏之・永井利郎・富岡啓介・廣岡裕史・遠藤眞智子(生物研)</p>	<p>257 座長 川北一人 ジャスモン酸(JA)およびメチルジャスモン酸(MeJA)のトマトアルターナリア茎枯病菌感染に与える影響 ●江草真由美・尾谷 浩・児玉基一朗(鳥取大農)</p>
10:12	<p>161 <i>Cylindrocladium pacificum</i>によるキングサリ根腐病 ●佐野真知子・小林享夫・廣岡裕史*・高橋幸吉**・夏秋啓子(東京農大国際・*生物研・**日植防研)</p>	<p>258 AAL毒素による細胞死にERFが関与する ●間瀬圭介・水野貴仁・森 仁志・児玉基一朗*・吉岡博文(名大院生農・*鳥取大農)</p>
10:24	<p>162 セイヨウナシに発生した<i>Stemphylium</i> sp.による褐色斑点病(新称)について ○棚橋 恵・蓑口千鶴*・横山和男・尾谷 浩** (新潟農総研園研セ・*新潟普及セ・**鳥取大農)</p>	<p>259 <i>Alternaria alternata</i>タンゼリン系統の生産する宿主特異的ACT毒素の生合成を担う遺伝子群 ●宮本蓉子・網代直哉・小川将興・増中 章*・柘植尚志**・山本幹博***・秋光和也(香川大農・*現北海道農研・**名大院生農・***岡山大農)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>354 座長 吉川信幸 サイレンシング経路におけるキュウリモザイクウイルス2bタンパク質の作用点について ○後藤一法・目黒文乃*・増田税* (ホクレン・*北大院農)</p> <p>355 キュウリモザイクウイルス2bタンパク質の大腸菌発現に影響するアミノ酸の決定 ○末田香恵・目黒文乃・増田税 (北大院農)</p> <p>356 サブレッサータンパク質を標的とした新規抗ウイルス剤開発のための <i>in vitro</i> 評価系の確立 ○深川尊子・目黒文乃*・志村華子*・山田裕一・大平真人・佐野慎亮・増田税* (日本曹達・*北大院農)</p> <p>357 プロトプラストを用いたウイルスPTGS サブレッサー活性の検出及びサブレッサー活性に影響する化合物の探索 ○志村華子・目黒文乃・深川尊子*・山田裕一*・佐野慎亮*・増田税 (北大院農・*日本曹達)</p>	<p>455 座長 曳地康史 タバコ野火病菌べん毛タンパク質フラジェリンの防御応答誘導活性とべん毛機能の解析 内藤佳奈・田口富美子・鈴木智子・稲垣善茂・豊田和弘・白石友紀・○一瀬勇規 (岡山大院自然科学)</p> <p>456 <i>Pseudomonas syringae</i> のフラジェリン糖鎖修飾構造とその合成に関わる遺伝子の機能解析 I ●常見和彦*・田口富美子*・竹内香純**・石井 忠***・吉田 充****・小野裕嗣****・亀山真由美****・一瀬勇規* (*岡山大院自然科学・**生物研・***森林総研・****食総研)</p> <p>457 植物による細菌DNAの認識機構 ●葉師寺賢・稲垣善茂・豊田和弘・白石友紀・一瀬勇規 (岡山大院自然科学)</p> <p>458 カンキツかいよう病菌によるかいよう形成におけるカンキツ <i>TERT</i> (Telomerase reverse transcriptase) 遺伝子の役割 関谷敏芳・●松倉藍・平田久笑・露無慎二 (静岡大農)</p>	<p>554 座長 有江 力 Ubiquitin ligase <i>ATL16</i> のシロイヌナズナにおける防御応答への関与 ○久保田真弓・河村陽子*・関根健太郎*・長谷 修*・高橋英樹*・百町満朗 (岐大応生・*東北大農)</p> <p>555 シロイヌナズナの過敏感細胞死の誘導機構におけるオーキシン応答性転写抑制因子 Aux/IAA の機能解析 西本奈未・高林賢吾・西出圭太・櫻井寿美子・田中 淨・Jeffery L. Dangl*・○上中弘典 (鳥取大農・*ノースカロライナ大学)</p> <p>556 <i>Pythium</i> 属菌の細胞壁タンパク質エリスターのトマトに対する抵抗性誘導活性部位の解析 ○竹中重仁・増中 章・関口博之・長谷 修*・高橋英樹* (北海道農研・*東北大院農)</p> <p>557 生物防除微生物 <i>Pythium oligandrum</i> による誘導抵抗性におけるシアノアラニンの役割 ●高橋 翔・長谷 修・河村陽子・竹中重仁*・高橋英樹 (東北大院農・*北海道農研セ)</p>
<p>358 座長 小林括平 ウイルス感染に反応する新規宿主因子 XYPX repeat 遺伝子の機能解析 ○厚見剛・中原健二・増田税・上田一郎 (北大院農)</p> <p>359 ウイロイド特異的 small RNAs の感染植物体中の経時的蓄積パターンとその塩基配列解析 ○渋谷允・町田悟・佐野輝男 (弘前大農生)</p>	<p>459 座長 落合弘和 メロン植物組織内に生存する <i>Pantoea ananatis</i> (<i>Erwinia ananas</i>) は果実への伝染源となりうる ○安達理恵・矢野和孝・木場章範*・曳地康史*・竹内繁治 (高知農技セ・*高知大農)</p> <p>460 Regulation mechanism of <i>hrp</i> regulon with a new positive regulator PrhG in <i>Ralstonia solanacearum</i> ●Zhang, Y., Yoshimochi, T.*, Kiba A.*, Hikichi, Y.*, Ohnishi, K. (RIMG, *Dept of Agriculture of Kochi University)</p>	<p>558 生物防除微生物 <i>Pythium oligandrum</i> による誘導抵抗性における <i>SGT1</i>, <i>RAR1</i> 及び <i>NPR1</i> の関与 河村陽子・○長谷 修・久保田真弓*・一瀬勇規**・竹中重仁***・高橋英樹 (東北大院農・*岐大応生・**岡山大院自然科学・***北海道農研セ)</p> <p>559 放線菌 <i>Streptomyces padanus</i> AOK30 が定着したカルミア組織培養苗における遺伝子応答(2) ●目黒あかね*, **・荻山 寛*・長谷川幸子**, **・西村富生**・久能 均*, **・豊田和弘*・白石友紀* (*岡山大院自然科学・** (株) 赤塚植物園生物機能開発研究所)</p>
<p>360 トマト黄化葉巻ウイルスとベゴモウイルス DNA リアソータント株の病原性と虫媒伝搬性 ○上田重文・大貫正俊・山下正隆 (九州沖縄農研)</p> <p>361 メロン根への感染過程における <i>Olpidium bornovanus</i> 遊走子の形態変化とメロンえそ斑点ウイルスの局在 ○望月知史・神田絢美・大木健広・津田新哉 (中央農研)</p>	<p>461 <i>Ralstonia solanacearum</i> の <i>hrpB</i> 発現は HrpG のリン酸化と PhcA によって共働で制御されている ●吉用武史・木場章範・大西浩平*・曳地康史 (高知大農・*高知大総研セ)</p> <p>462 タバコ植物の青枯病菌感染応答におけるアスパラギンリッチタンパク質の関与 ●小森大輔・大西浩平・曳地康史・吉岡博文*・木場章範 (高知大農・*名古屋大院農)</p>	<p>560 座長 辻 元人 カブモザイクウイルスに感染したアラビドプシスにおけるえそ誘導機構 金甫珉・増田税・松浦英幸・高橋英樹*・ ○犬飼剛 (北大院農・*東北大院農)</p> <p>561 シロイヌナズナのゲノム情報を利用したアブラナ科作物の病害防御機構解明の試み ○鳴坂義弘*・鳴坂真理**, **・安部洋***・小林正智***・畠山勝徳****・宇野久仁子*・白石友紀** (*岡生研・**岡大農・***理研BRC・****野茶研)</p>

4月28日(月)3日目	第1会場	第2会場
10:36	163 <i>Alternaria alternata</i> によるヤエヤマアオキ黒斑病 (新称) ●上村大樹・田場 聡・那須奏美*・澤岬哲也**・諸見里善一 (琉大農・*沖縄県農改セ・**沖縄農研セ)	260 ACR毒素レセプター遺伝子mRNA結合タンパク (ACRS mRNA binding protein) と宿主特異性決定 ●西村 聡・三宅ちか子・小野由希子・多々納 智・大谷耕平・秋光和也 (香川大農)
10:48	164 座長 竹内 純 モモ果実に発生した赤色斑点症状 ○菅野英二・古山義夫*・森本涼子**・中村 仁***・足立嘉彦**** (福島農総セ果研・*福島県北農林・**和歌山農総技セ果樹試かき・もも研・***果樹研・****東北農研)	261 <i>Alternaria alternata</i> 病原型間におけるハイブリッド株作出と遺伝解析 ●赤木靖典・柘植尚志*・山本幹博**・尾谷 浩・児玉基一朗 (鳥取大農・*名大院生農・**岡山大農)
11:00	165 <i>Ellisembia</i> sp. によるモモ果実赤点病 (新称) ○森本涼子・菅野英二*・足立嘉彦**・中村 仁*** (和歌山農総技セ果樹試かき・もも研・*福島農総セ果研・**東北農研・***果樹研)	262 座長 竹本大吾 <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> の植物侵入に関する因子のプロテオーム解析 ○川部眞登・有江力*・有本裕 (理研・*農工大農)
11:12	166 キンレンカ斑点病 (新称) の発生 ○忠英一・杉山悟・原田幸雄* (青森農林総研フラワーセ・*弘前大農生)	263 オオムギうどんこ病菌 (<i>Blumeria graminis</i>) のLife Cycleにおける第一発芽管 (Primary Germ Tube: PGT) の役割とその意義 (11) ●菅井維之・西口正通・松本勲・山岡直人 (愛媛大・農)
11:24	167 <i>Botrytis</i> sp. によるヘメロカリス斑点病 (病原追加) ○塚本俊秀・磯田 淳 (島根農技セ)	264 ナシ黒斑病菌における活性酸素種 (reactive oxygen species; ROS) 生成遺伝子 <i>noxA</i> および <i>noxB</i> 変異株の細胞学・病理学的比較調査 ○玄康洙・森田雄一・池田健一・中屋敷均・朴杓允 (神戸大院農学研究所)
11:36	168 多様なイネ籾殻付着菌とその意義 ○渡邊恒雄・中村和憲 (産総研)	265 Histochemical reactions in Japanese birch plantlets infected with the <i>Inonotus obliquus</i> IO-U1 strain ○Rahman, M.M.*, Ishiguri, F**, Takashima, Y**, Satoh, M**, Iizuka, K**, Yoshizawa, N**, Yokota, S.** (*United Grad. Sch. Agri. Sci., Tokyo Univ. Agri. and Technol., **Fac. Agri., Utsunomiya Univ.)
11:48	169 ノグルミ白粒葉枯病菌 <i>Mycopappus</i> sp. のテレオモルフ ○周藤靖雄 (元島根林技セ)	266 カバノアナタケ菌IO-U1株に感染したシラカンバ幼植物体No. 8における菌感染特異的タンパク質のプロテオーム解析 ○高島有哉・Rahman Md. Mahabubur*・石栗太・飯塚和也・吉澤信夫・横田信三 (宇大農・*農工大連合農)
12:00		

第3会場	第4会場	第5会場
<p>362 座長 竹下 稔 N遺伝子のAvr特異的発現誘導機構の解析 ○小林光智衣・高島令王奈*・瀬尾茂美・大橋祐子・光原一朗（生物研*・岡山県生科総研）</p> <p>363 キュウリモザイクウイルス抵抗性の強度を決定する抵抗性遺伝子産物RCY1の蓄積量 ○関根健太郎・川上さやか・長谷修・高橋英樹（東北大院農）</p> <p>364 GFPレポーターを用いたキュウリモザイクウイルス抵抗性におけるサリチル酸シグナル伝達系活性化の解析 ●甲斐朝湖・関根健太郎・河村陽子・長谷 修・山下真生*・富田啓文*・高橋英樹（東北大院農*・日本農薬）</p>	<p>463 座長 向原隆文 青枯病菌<i>Ralstonia solanacearum</i>に感染するバクテリオファージRSB1の塩基配列決定及び解析 ●清水美緒・川崎 健・藤原亜希子・藤江 誠・宇佐美昭二・山田 隆（広大院・先端研）</p> <p>464 青枯病菌<i>Ralstonia solanacearum</i>に感染するRSA1のminirepliconの作製 ●藤原亜希子・川崎 健・藤江 誠・宇佐美昭二・山田 隆（広大院・先端研）</p> <p>465 イネ苗立枯細菌病菌のファージ感染型の類別とファージ感受性の変化 ○塚本昇市*・安達直人*・井上康宏**・宮川久義***・畔上耕児**（*石川農研，**中央農研，***近中四農研）</p>	<p>562 防御応答ネットワーク解析によって明らかになったサリチル酸を介したシグナル伝達とmicrobe-associated molecular patterns (MAMPs) 認識後のシグナル伝達の相互阻害 ○佐藤昌直*，**・津田賢一**・Jane Glazebrook**・渡辺雄一郎*・片桐文章**（*東大院 総合文化，** Univ. of Minnesota）</p> <p>563 発光レポーターを用いた抵抗性誘導剤スクリーニング手法の改良 笹野佳奈子・盤指 豪・浦田信明・小倉里江子・田中恒之*・小野祥子・○平塚和之（横浜国大院環境情報）</p> <p>564 座長 久保田真弓 ヒートショック処理による植物の病害抵抗性誘導機構の解析 ○草島美幸*，**・安田美智子*・佐藤達雄**・中島雅己**・阿久津克己**・仲下英雄*（*理研中央研・**茨城大農）</p>
<p>365 座長 高橋英樹 キュウリモザイクウイルスベクターを用いたトマト果実におけるサイレンシングの誘導 ○石原岳明・増田 税*（ホクレン*・北大院農）</p> <p>366 2b遺伝子を欠失したキュウリモザイクウイルス（CMV）とカブモザイクウイルス（TuMV）の<i>Nicotiana benthamiana</i>における挙動 野口眞季子・○竹下 稔・石川（末廣）典子*・夏秋知英**・増田 税***・大島一里****・古屋成人・土屋健一（九大院農*・静岡大農**・宇都宮大農***・北大院農****・佐賀大農）</p> <p>367 ダイズにおけるリンゴ小球形潜在ウイルスベクターを利用したウイルス誘導ジーンサイレンシング（VIGS） ○山岸紀子・高橋由佳里・磯貝雅道・吉川信幸（岩手大農）</p>	<p>466 浸透移行性殺虫剤の樹幹処理によるカンキツグリーニング病感染抑制 ○亀川藍・河野伸二・安田慶二・佐渡山安常・上地奈美（沖縄農研セ）</p> <p>467 市販有機質資材添加土壌由来の微生物が養液栽培におけるトマトの青枯病の発生に及ぼす影響 ●小粥理絵・須田互・宇佐見俊行・雨宮良幹（千葉大院園）</p> <p>468 ワサビ軟腐病菌の多様性と生物防除に関する研究 ●川瀬晃一・瀧川雄一（静岡大農）</p>	<p>565 自然感染条件を模倣した効率的いもち病感染方法の開発とこれを用いたイネいもち病抵抗性劣性突然変異体のスクリーニング ○川崎信二・粟戸裕美・徐 鑫・宮尾安藝雄・加藤 浩*・廣近洋彦（生物研*・作物研）</p> <p>566 各種病害抵抗性誘導物質処理がブドウ培養細胞のエリシター応答発光（ERPE）に及ぼす影響 ○加藤公彦・伊代住浩幸・貫井秀樹（静岡農林研）</p> <p>567 病害抵抗性誘導物質の前処理がコムギ及びバレイショにおけるエリシター応答発光（ERPE）に及ぼす影響 ○伊代住浩幸・貫井秀樹・加藤公彦（静岡農林研）</p>
	<p>469 <i>Pythium oligandrum</i>を用いたイネもみ枯細菌病（苗腐敗症）の生物的防除 ○佐藤秀明・前田征之*・石川浩司・黒田智久・堀 武志**・竹中重仁***（新潟農総研作物研*・新潟農総研・**新潟県経営普及課・***北海道農研）</p>	

4月28日(月)3日目	第1会場	第2会場
13:00	<p>170 座長 松田克礼 トリコデルマ属菌の堆肥処理と亜リン酸液肥の体系処理による丹波黒大豆立枯性病害の防除 ○仲川晃生・越智 直・近藤彰宏*・前川和正**・樋本英司*** (中央農研, *出光興産, **兵庫農技セ北部, ***兵庫篠山農改)</p>	<p>267 座長 石黒 潔 マルチライン用葉いもち病勢進展シミュレーションモデルBLASTMULへの突然変異パラメータの導入 芦澤武人・○平八重一之・森脇丈治・高橋真実 (中央農研)</p>
13:12	<p>171 各種葉草類抽出液の抗菌活性とキュウリ炭疽病に対する発病抑制効果について ○宮川久義・大野裕和* (近中四農研・*丸善製薬)</p>	<p>268 イネいもち病菌の水田圃場における病原性突然変異頻度の推定 ○高橋真実・芦澤武人・森脇丈治・平八重一之 (中央農研)</p>
13:24	<p>172 気象データを用いたナシ黒星病の防除支援システムの開発(3)黒星病感染危険度の自動算出システムの構築 ○金子洋平・牛尾進吾・菅原幸治*・竹内妙子 (千葉農総研・*中央農研)</p>	<p>269 日本各地の局所から採集された野生 <i>Setaria</i>属植物いもち病菌の集団内における遺伝的多様性 ●祝千尋・山頭亜紀子・平田健治*・草場基章 (佐賀大農・*筑波大遺伝医学)</p>
13:36	<p>173 発光レポーター遺伝子を応用したビール類酵母抽出物中に含まれるエリシターの探索 ○南 太一*・**・北川隆徳*・尾形信一**・宮原照夫*・平塚和之** (*アサヒビール(株) 豊かさ研・**横浜国大院環境情報)</p>	<p>270 エノコログサ種子に感染したいもち病菌の野外における越冬について ●山頭亜紀子・梅野美穂・善林薫*・諸石雅彦・田中欽二・草場基章 (佐賀大農・*東北農研)</p>
13:48	<p>174 ヤマノイモ青かび病の発生に及ぼす種芋貯蔵方法の影響 ○前川和正 (兵庫農総セ)</p>	<p>271 MBI-D耐性イネいもち病菌の種子伝染による発生拡大 ○佐々木直子・猫塚修一 (岩手農研)</p>
14:00	<p>175 緑肥作付けによるダイコンパーティシリウム黒点病の抑制効果 ○小松 勉・山下 茂* (道立花野セ・*後志農改)</p>	<p>272 葉いもち感染時に観察される伝染源からの4種類の伝染勾配 ○石川浩司・堀武志*・黒田智久・佐藤秀明・原澤良栄 (新潟農総研作物研・*現:新潟県経営普及課)</p>
14:12	<p>176 イチゴうどんこ病防除のための紫外光(UV-B)照射 ○神頭武嗣・松浦克成・山田真*・石渡正紀*・宇佐見俊行**・雨宮良幹** (兵庫県農技総セ・*松下電工・**千葉大院園)</p>	<p>273 イネ栽培圃場周辺のイネ科牧草類から分離したいもち病菌の病原性と個体群構造 ○荒井治喜・鈴木文彦 (九州沖縄農研)</p>
14:24	<p>177 座長 佐藤幸生 黒すす病菌汚染ブロッコリー種子のエタノールによる消毒 ○窪田昌春・西 和文 (野菜茶研)</p>	<p>274 座長 小泉信三 Googleマップで稼働する気象予測データを用いた葉いもち発生予察システム(BLASTAM)の開発 ○小林隆・菅野洋光・神田英司・岡村晴美*・田口晶彦*・Prima Oky Dicky**・南野謙一**・兼松誠司・石黒潔*** (東北農研・*日本気象協会・**岩手県大・***農水省技会)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>368 座長 岩井 久 ホップ矮化ウイルスドブドウ変異体がホップに持続感染している間に生じる塩基変異プロセスの解析 ○伊藤(川口)陽子*・佐野輝男**, *** (*岩手連大・**弘前大農生・***弘前大遺伝子)</p> <p>369 各種Potyvirus属ウイルス由来 5' 非翻訳領域 (5' UTR) の翻訳エンハンサー活性ならびにInternal ribosome entry site (IRES) 活性について 中浜克彦・○小倉里江子・松尾直子・平塚和之 (横浜国大院環境情報)</p> <p>370 染色体組込み型酵母ツーハイブリッド法によるムギ類萎縮ウイルス外被タンパク質およびオオムギフェニルアラニンアンモニアリアーゼ (PAL) と相互作用するオオムギタンパク質のcDNAライブラリースクリーニング ○宮下脩平・白子幸男* (東大院農・*東大アジア生資研)</p> <p>371 Functional analysis of Mu transposon-based RNA3 mutants of Cucumber mosaic virus. ○ J S Hong, J H Ha, M J Kim, S.H., Choi, J.Y. Kwon, J.K. Choi*, and K H Ryu (ソウル女大・*江原大)</p> <p>372 Development of highly infectious GFP-tagging clone of Pepper mottle virus and application in tobaccos and peppers ○ M Y Lee, J S Hong, Y S Song, J K Choi*, K H Ryu. (ソウル女大・*江原大)</p>	<p>470 座長 瀧川雄一 <i>Rhodococcus fascians</i> によるペチュニア帯化病 (新称) 上松寛・○清水慶明・塚本貴敬・水野明文・佐藤成良・齊藤範彦 (横浜植防)</p> <p>471 ソリダゴ (<i>Solidago tara</i>) に発生した <i>Agrobacterium tumefaciens</i> による根頭がんしゅ病 (新称) について ○西 菜穂子・尾松直志*・篠原弘亮** (鹿児島農総セ大島支場・*鹿児島農総セ・**東農大農)</p> <p>472 “<i>Candidatus Phytoplasma fragariae</i>” によるイチゴ黄化病 (新称) の発生 ○田中穰・田中千華*・宇杉富雄・植松清次*・海老原克介** (中央農研・*千葉農総研暖地・**安房農林振興セ)</p> <p>473 <i>Agrobacterium tumefaciens</i> biovar 1 によるブドウ根頭がんしゅ病の発生 (病原追加) ○川口 章・井上幸次 (岡山農試)</p> <p>474 <i>Erwinia chrysanthemi</i> によるマンゴー枝枯細菌病 (新称) ●宮平奈央・澤岷哲也*・古屋成人・河野伸二*・竹下 稔・土屋健一 (九大院農・*沖縄農研セ)</p>	<p>568 座長 佐久間晴彦 酵母抽出物のトマト褐色根腐病に対する防除効果 ○高崎智子・三宅隆宏*・久保田真弓*・宮原照夫・百町満朗* (アサヒビール (株) ・*岐大応生)</p> <p>569 各種植物病害に対する乳酸菌の有効性 ○津田和久・松井理恵*・小坂能尚・梅村賢司*・三富正明* (京都農資セ・*明治製菓 (株))</p> <p>570 乳酸菌によるハクサイ軟腐病の防除 ○辻井みや子・津田和久・梅村賢司*・三富正明*・小坂能尚 (京都農資セ・*明治製菓 (株))</p> <p>571 乳酸菌 <i>Pediococcus pentosaceus</i> KMC05株を処理したシロイヌナズナにおける遺伝子発現変動の解析 井上裕貴・○高橋智子・辻 元人・梅村賢司*・三富正明*・小坂能尚**・津田和久**・久保康之 (京都府大院生環・*明治製菓 (株) ・**京都農資セ)</p> <p>572 ジャガイモそうか病に対する生物防除微生物の発病抑制効果と特性 ○小林有紀・小林 晃・前田征之*・竹中重仁 (北海道農研・*新潟農総研)</p>
<p>373 座長 鈴木信弘 Sub-cellular targeting of the capsid protein of monopartite <i>Tomato leaf curl Java Virus</i> ○Sharma, P. and Ikegami, M. (Tohoku Univ.)</p> <p>374 カブモザイクウイルスのbasal-BRグループ分離株は四国地方でも優位である ●古賀涼子・藪 正利・大島一里 (佐賀大農)</p> <p>375 カブモザイクウイルスの新しい分子系統グループ ●池末 睦・山口 梢・明石真幸・富高保弘・Shirin Farzadfar*・大島一里 (佐賀大農・*イランPPDRI)</p>	<p>475 座長 塩谷 浩 各地で発生したカーネーション苗の萎凋細菌病類似症状から分離される細菌について ○篠原弘亮・内川敬介*・野村颯子**・辻本明佳**・瀧川雄一**・白川 隆***・藤本義子****・對馬誠也****・寺沢祐一*****・小金澤碩城***** (東農大農・*長崎農総農林試・**静岡大農・***野菜茶研・****農環研・*****カネコ種苗)</p> <p>476 マルチプレックスPCRによる国内産ジャガイモ青枯病菌のPhylotypeの識別 ○堀田光生・土屋健一*・田中文夫**・菅 康弘***・大城篤****・吉田隆延 (農環研・*九大院農・**北海道立中央農試・***長崎果樹試・****沖縄農研名護)</p> <p>477 Genetic diversity of Japanese isolates of <i>Ralstonia solanacearum</i> ●Liu, Y.I, Hikichi, Y.I, Kiba A.I, Takikawa, Y.2, Mizoguchi, S.3, Aino, M.4, Nakaho, K.5, Kawaguchi, A.6, Shiomi, H.7, Ohnishi, K.1 (IKochi Univ., 2Shizuoka Univ., 3Sakata Seed, 4Hyogo Pref.Agric.Inst., 5NARC, 6Okayama Pref.Gen.Agric.Center, 7Takii Seed)</p>	<p>573 土壌中におけるジャガイモそうか病菌と生物防除微生物の菌量の推移 ○小林 晃・小林有紀・前田征之*・竹中重仁 (北海道農研・*新潟農総研)</p> <p>574 座長 山口純一郎 各種きのこから分離される細菌の類別 ●関根早織・大関 優・関 玄弘・森岡清規・篠原弘亮・根岸寛光・陶山一雄 (東京農大農)</p> <p>575 転炉スラグ資材施用によるブロッコリー根こぶ病の発病抑制効果 ○安田文俊・岡山裕志・後藤逸男* (鳥取園試・*東京農大)</p>

4月28日(月)3日目	第1会場	第2会場
14:36	<p>178 トマトうどんこ病の総合的防除技術の開発(1)栽培種と野生種トマトの種間交雑によるうどんこ病抵抗性トマト品種の育成 ○野々村照雄・松田克礼・阪野洋平・豊田秀吉(近畿大農)</p>	<p>275 出穂後の低温が穂もち感受性に及ぼす影響 ○笹原剛志・畑谷みどり*・小林隆**・兼松誠司** (宮城古川農試・*千葉防除所・**東北農研)</p>
14:48	<p>179 トマトうどんこ病の総合的防除技術の開発(2)オオムギうどんこ病菌分生子によるトマトうどんこ病の生物防除 野々村照雄・○西富絢恵・平井達雄・松田克礼・豊田秀吉(近畿大農)</p>	<p>276 日本国内外で採集したイネ紋枯病菌のDNAフィンガープリント解析 ●森島千晶・加藤宗徳・稲垣公治・荒川征夫(名城大農)</p>
15:00	<p>180 トマトうどんこ病の総合的防除技術の開発(3)コロナ放電を利用した小型プラズマ気流照射装置の作製と局部直接照射によるトマト葉上菌叢の駆除 ○松田克礼・加藤栄子・野々村照雄・豊田秀吉(近畿大農)</p>	<p>277 イネ紋枯病菌子実層の水田圃場における形成状況 ○宮坂 篤・中島 隆(九州沖縄農研)</p>
15:12	<p>181 トマトうどんこ病の総合的防除技術の開発(4)双極型静電場スクリーンを用いたトマトうどんこ病の物理的防除 松田克礼・○加藤栄子・野々村照雄・金原淳司*・草刈真一**・豊田秀吉(近畿大農・*カゴメ(株)・**大阪府環境農水総研)</p>	<p>278 コムギとオーチャードグラスの褐色雪腐病に關与するPythium 属菌の北海道における分布 美濃健一・○東條元昭*・沼田州平*・星野 保**・貴田健一* (道立北見農試・*大阪府大院生環・**産総研北海道)</p>
15:24	<p>182 うどんこ病感受性野生種トマト (<i>Lycopersicon pennellii</i>) の葉上トリコームにおける気中水分捕集機構とうどんこ病菌発芽抑制機構との関連性 ○豊田秀吉・宮島猛将・西富絢恵・松田克礼・野々村照雄(近畿大農)</p>	<p>279 水田化に伴う赤かび病菌個体群動態の解析 ○鈴木文彦・中島 隆・宮坂 篤・吉田めぐみ・大崎美由紀*・荒井治喜(九州沖縄農研・*九州東海大農)</p>
15:36	<p>183 座長 窪田昌春 微生物資材 <i>Talaromyces</i> sp. KNB-422 とイネばか苗病菌との相互作用の可視化 ●加藤亮宏・三宅泰司*・堅石秀明*・寺岡 徹・有江 力(農工大院農・*(株)クレハ)</p>	<p>280 麦類における収穫前降雨が赤かび病かび毒蓄積に及ぼす影響 ○吉田めぐみ・中島 隆(九州沖縄農研)</p>
15:48	<p>184 微生物資材 <i>Talaromyces</i> sp. KNB-422 のイネ育苗時病害の防除効果と作用機構 ○三宅泰司・加藤亮宏*・堅石秀明・佐久間米子・寺岡 徹*・有江 力* (株)クレハ・*農工大院農)</p>	<p>281 座長 東條元昭 晩秋における雪腐黒色菌核病菌生物型Aの菌核不発芽 ○松本直幸(北農研)</p>
16:00	<p>185 コムギの外観健全粒の容積重とDON汚染程度との関係 ○相馬 潤(道立中央農試)</p>	<p>282 うどんこ病罹病葉と健全葉の葉圏細菌群集の解析 ●須田互・長崎麻美・宍戸雅宏(千葉大院園)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>376 宿主植物とほとんど非宿主植物におけるRNA植物ウイルス種の集団と準種の変動 ○大島一里・明石真幸・梶山裕美・古賀涼子（佐賀大農）</p>	<p>478 各種植物から分離した<i>Acidovorax valerinellae</i>の研究 辻本明佳・楠元智子*・川田宏史・山本圭祐・小林真樹**・牧野孝宏***・中田孝之・瀧川雄一（静岡大農・*愛媛農試・**理研グリーン・***光産業創成大学院大）</p>	<p>576 蒸気式催芽法での温湯と食酢の併用処理によるイネ褐条病の防除 ○関原順子・三室元気・向島博行（富山農技セ農試）</p>
	<p>479 <i>Herbaspirillum</i> sp.によるイチゴ斑点細菌病と系統解析 ●山本圭祐・楠元智子*・川田宏史・瀧川雄一（静岡大農・*愛媛農試）</p> <p>480 ニンジンおよび自生植物から分離されたニンジンこぶ病菌の同定および分類学的位置について ○河原崎秀志*・**・後藤正夫*・木嶋利男*・川田宏史***・山本圭祐***・瀧川雄一**・**（*微応研・**静岡大院創造・***静岡大農）</p>	<p>577 送風処理のイネいもち病に対する全身の抵抗性の誘導 ○小山剛史・久保田真弓・田口義広*・百町満朗（岐大応生・*出光興産（株））</p> <p>578 電解オゾン水による養液栽培培養液の殺菌効果について ○草刈真一・岡田清嗣・磯部武志・谷岡 隆*・吉田幸一*・富士原和宏**・朴鍾石**・大橋敬子**・石井雅久***・五十部誠一郎****・小関成樹****（大阪環水総研・*神戸製鋼・**東大・***農工研・****食総研）</p>
	<p>481 座長 中保一浩 ウメからファイトプラズマ検出 ○河辺祐嗣・横井寿郎・楠木学*・古川聡子**・岸國平***（森林総研森林微生物領域・*同四国支所・**首都大生命・***農業技術協会）</p>	<p>579 白紋羽病菌非病原性菌株を培養した木質チップの量および大きさが白紋羽病の発病抑止に及ぼす影響 ○中村 仁・佐々木厚子・吉田幸二・島根孝典（果樹研）</p>
	<p>482 ウメ生育障害樹からのファイトプラズマの接ぎ木伝染 ○古川聡子・河辺祐嗣*・辻本清孝**・溝口博一***・岸國平****（首都大生命・*森林総研・**JA紀南・***田辺市役所・****農業技術協会）</p>	<p>580 座長 景山幸二 植物病原菌を用いたヨーロッパにおけるイタドリの生物的防除（VI）生物的防除素材として有望なイタドリ斑点病（新種） ●黒瀬大介・古屋成人・松元 賢・井上優子・Shaw, R. H.*・Djeddour, D. H.*・Evans, H. C.*・高木正見・土屋健一（九大院農・*CABI Europe-UK）</p>
	<p>483 ワサビの苗に発生した立ち枯れ症状について ○外側正之・芳賀一・鈴木幹彦・内山徹・瀧川雄一*（静岡農林研・*静岡大農）</p>	<p>581 植物病原菌を用いたヨーロッパにおけるイタドリの生物的防除（VII）日本と英国のイタドリ葉における内生菌相の比較解析 ●井上優子・黒瀬大介・松元 賢・古屋成人・Shaw, R. H.*・Djeddour, D. H.*・Evans, H. C.*・高木正見・土屋健一（九大院農・*CABI Europe-UK）</p>
	<p>484 ジャガイモ黒あし病菌3種のELISAおよびPCRによる識別 ○田中文夫・不破秀明*・堀田光生**（北海道立中央農試・*種管セ中央・**農環研）</p>	<p>582 <i>Trichoderma atroviride</i> SKT-1をライブコートした稲粃のばか苗病及びもみ枯細菌病に対する発病抑制効果 ○相野公孝・竹内繁治*・難波孝志**・渡辺 哲***・橋本好弘****（兵庫農技総セ・*高知農技セ・**日植防研・***クミアイ化学・****サカタのタネ）</p>
	<p>485 実生苗を利用した増菌法（Sweat-bag Seedling法）に適用する薬剤が<i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>citrulli</i>に及ぼす影響 ○佐藤仁敏・鈴木輝子・白川 隆*（種管セ・*野菜茶研）</p>	<p>583 キュウリ炭疽病を抑制する拮抗性内生放線菌の選抜 ○清水将文・矢澤佐知子・牛島悠介（三重大院生資）</p>

4月28日(月)3日目	第1会場	第2会場
16:12	<p>186 ジャガイモ根部より分離した糸状菌によるジャガイモ粉状そうか病の発病抑制 ○中山尊登 (北農研)</p>	<p>283 AFLPによるリンゴ褐斑病菌の個体識別と同一樹から2ヶ年分離した菌株のジェノタイプ分布 ○兼松聡子・菅野英二*・尾上真理・須崎浩一・伊藤伝 (果樹研リンゴ・福島農総セ*)</p>
16:24	<p>187 植物生育促進菌類<i>Fusarium equiseti</i> を担持させたビール粕成型炭のトマト萎凋病及びホウレンソウ萎凋病の防除効果 ○堀之内勇人・高崎智子*・宮原照夫*・百町満朗** (岐阜農技セ・アサヒビール(株)・**岐大応生)</p>	<p>284 キュウリホモプシス根腐病菌の土壌中での残存期間 ○堀越紀夫・芳賀紀之*・平子喜一 (福島農総セ・*福島農総セ会津)</p>
16:36	<p>188 宮城県の主要小麦品種における赤かび病およびデオキシニバレノール汚染低減と薬剤散布回数削減の可能性 ●大場淳司 (宮城古川農試・岩手連大)</p>	<p>285 2001年から2004年に北海道で分離されたジャガイモ疫病菌の遺伝子型分布 ●廣富 大・馬場ゆき子・秋野聖之・近藤則夫 (北大院農)</p>
16:48	<p>189 マルチフィルムによる簡易な根域制限とクロルピクリンくん蒸剤の併用によるキュウリホモプシス根腐病の防除 ○岩館康哉・永坂厚*・山田修**・猫塚修一 (岩手農研・*東北農研・**岩手県庁)</p>	<p>286 土壌燻蒸消毒後の土壌と罹病根から<i>Fusarium oxysorum</i>を分離するための選択培地 ○西村範夫 (九州沖縄農研)</p>
17:00		<p>287 北海道におけるニバレノール産生型<i>Fusarium asiaticum</i>の春播コムギに対する病原性 ●水野はるか・相馬 潤*・近藤則夫 (北大院農・*道立中央農試)</p>
17:12		

第3会場	第4会場	第5会場
	<p>486 座長 田中 穰 LAMP法によるジャガイモそうか病菌の Pathogenicity Island (PAI) 関連遺伝子の検出 ○西 八束・鈴木 文彦*・尾松 直志・田代暢哉** (鹿児島農総セ・*九州沖縄農研・**佐賀上場営農セ)</p> <p>487 イネ黄萎病媒介虫ツマグロヨコバイにおけるファイトプラズマ感染の定量 ○渡部賢司・佐伯知明・野田博明 (生物研)</p> <p>488 微生物防除剤シュードモナス・フルオレッセンスFPT-9601株のトマト根部組織での分布 ○秋津教雄・中保一浩* (多木化学・*中央農研)</p> <p>489 カンキツかいよう病菌検出のための発光遺伝子群 <i>luxAB</i> 融合ファージの作出 長谷徳次・●武田佑輔・平田久笑・露無慎二 (静岡大農)</p>	<p>584 イネ細胞間隙に由来する微生物群からのDNA単離と18SrDNAの解析 ●山内芳紀・川上さやか・関根健太郎・長谷修・伊藤豊彰*・畑中教子**・笹原剛志**・関口博之***・竹中重仁***・高橋英樹 (東北大院農・東北大院農複合セ*・古川農試**・北農研セ***)</p> <p>585 ネギ黒腐菌核病の定植時期の違いによる発病差異と土壌還元消毒による防除の可能性 ○富田恭範・小河原孝司・江口郁恵*・鈴木秀文*・石井佳美**・野口敬命* (茨城農総セ園研・*茨城農総セ坂東農改・**茨城霞用水)</p>